

【専門教育科目/看護の展開/看護の展開】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年看護学実習Ⅱ (病棟)		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
佐野 宏一朗 他	414	k.sano	金曜 14:40~16:10		
授業の目的・概要	この実習では、病院に入院している老年期にある対象者や家族の健康問題と個々の生活背景などを総合的に把握し、対象の個性を踏まえて看護を実践する能力を習得する。様々な疾患・障害から生じる生活機能障害に対して看護過程を展開し、対象の個性に合わせて、生活の質を維持・向上を支援する看護について、実践を通して理解を深める。また高齢者の医療を支える様々な専門職の連携や、地域と病院の連携について学習・検討を行い、理解を深める。				
学習上の助言	今までに学習した内容をよく復習したうえで実習に臨むこと。施設実習、学内演習、Teams等を活用した実習となるため、Teamsを使用して積極的に質問などを行い、疑問点を解決できるよう努めること。				
教科書	生活機能からみた老年看護過程 第4版+病態・生活機能関連図/著:山田律子/医学書院/2020				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	老年期にある疾患を抱えた対象の身体的、心理的、社会的側面を理解する。		NS(1)~(5)		
②	高齢者に特有な健康障害について理解する。		NS(1)~(5)		
③	対象者の個性に応じて看護援助計画を立案し、援助を実施・評価出来る。		NS(1)~(5)		
④	高齢者への看護において必要な保健医療福祉サービスの連携と看護職の役割を考える。		NS(1)~(5)		
⑤	実習を通して高齢者の看護について重要な事をまとめ、自分の言葉で述べることが出来る。		NS(1)~(5)		
⑥					
授 業 計 画					
1.実習の時期と期間 3年次後期 各グループ約7名で各2週間実施する。					
2.実習場所 都留市立病院、上野原市立病院、石和温泉病院、大学内およびTeamsの活用					
3.オリエンテーション 実習1日目に具体的な実習内容、留意事項などについて説明をする。詳細は実習要項を参照すること。					
4. 具体的な実習方法 1) 実習は病院にいて高齢者に特徴的な疾患をもつ患者への看護実践を見学すると共に、事例の情報収集、対象理解、学内におけるシミュレーション実習等を中心に行い、看護過程を展開する。また Teams を活用した学習・検討をおこなう。 2) 実習のスケジュール:1週目の初日にオリエンテーションを実施し、詳細を説明する。詳しくは実習要項を参照すること。					
5.単位の認定及び評価 出席状況、実習記録、レポート等による総合評価					
6.実習記録および課題レポートの提出 実習要項参照を参照すること。					

【専門教育科目/看護の展開/看護の展開】

学習課題・学習時間 (時間)							
老年看護学領域で学習した内容全般を実習前に復習すること。 実習中の疑問や対象者への援助に必要な知識・技術は各自で自己学習すると共に、Teams等を活用して教員に質問し、必ず疑問を解決すること。							
必要時間： 30時間							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	20	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	3	2	0	25
	思考・推論・創造する力	0	20	3	2	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	2	0	2
	発表・表現伝達する力	0	10	3	0	0	13
	コミュニケーション力	0	0	3	0	0	3
	取組みの姿勢・意欲	0	5	5	2	10	22
	問題を発見・解決する力	0	5	3	2	0	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	実習記録および最終レポートの内容等を、実習指導教員が評価指標に基づき評価する。レポートのテーマ・字数等の様式については、オリエンテーション時に説明する。				実習記録の内容について、担当教員よりコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①	✓	学生主体でカンファレンスを実施するとともに、学生間で学びを共有する。学生は積極的に質疑応答に参加すること。				実習中にコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①	✓	事前学習や実習記録、日々の行動計画や実習の振り返りの記録などから学習に対する姿勢を評価する。				実習中に記録を提出し、その都度教員からコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①		実習中は倫理的態度に基づいて行動する(言葉づかい、他者の話を聴く姿勢、報告・連絡等)。				その都度指導を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	山崎さやか						
教 員 の 実 務 経 験	佐野は病院の看護師 15 年の実務経験、山崎は病院の看護師 9 年の実務経験。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導の下、高齢者への看護援助の実践方法を学ぶ。						
そ の 他	自己の健康管理に十分注意し実習に臨むこと。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は実習、対面演習の参加を認めない。体調が不良の時には、実習指導教員に相談するなどの適切な対応をすること。Teamsを使った同時双方向型授業の際には、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。						